

◎学長表彰

- コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科2年 岡優子さん
「2006年度日本アジア航空第21回中国語スピーチコンテスト」第1位
- コミュニケーション学部ビジネスコミュニケーション学科4年 開地友也さん
第45回全日本なぎなた選手権大会男子個人の部3位、第45回愛知県なぎなた選手権大会男子個人の部2位
- ラグビーフットボール部
積極的な個人練習で体力、筋力の向上をはかり、念願の1部昇格を果たした

◎学生部長表彰

- <個人の部>
- コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科2年 加藤美香さん
「2006年度日本アジア航空第21回中国語スピーチコンテスト」特別優秀賞
 - 現代社会学部現代社会学科3年 加藤大貴さん
第29回東海ブロックなぎなた選手権大会男子個人の部第2位、第45回愛知県なぎなた選手権大会男子個人の部優勝
 - 現代社会学部現代社会学科3年 藤谷美希さん
 - 現代社会学部現代社会学科3年 田島香織さん
JIA東海支部建築設計競技学生の部銅賞
 - コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科3年 金本美名子さん
「2006年度日本アジア航空第21回中国語スピーチコンテスト」第3位
 - 現代社会学部現代社会学科4年 間瀬さやかさん
第54回東海学生バドミントン選手権大会女子シングルスベスト8位、第46回西日本学生バドミントン選手権大会女子シングルスベスト32位、秩父宮・秩父宮妃杯争奪第57回全日本学生バドミントン選手権大会シングルス・ダブルス出場
 - コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科4年 石垣直也さん
世界組織「国際異文化コミュニケーション学会」の「日本異文化コミュニケーション学会」中部支部の執行役員を唯一学部学生として務め、積極的に運営に貢献
 - コミュニケーション学部ビジネスコミュニケーション学科4年 平野翔太さん
ラグビーフットボール部主将として、強豪チームと対等に戦うため、組織力を高めることに腐心 類稀なるリーダーシップで、チームを1部リーグ昇格に導いた

<団体の部>

- 女子バスケットボール部
昨年3部リーグ4位、今年度は3部リーグ2位
- チアリーディング部
中部チアリーディング選手権大会3位、日本選手権大会（東京代々木第1体育館）出場 全国全日本学生チアリーディング選手権大会で念願の決勝進出
- バドミントン部
 - ・女子 第103回東海大学バドミントン選手権大会 団体1部4位
第104回東海大学バドミントン選手権大会 団体1部4位
秩父宮・秩父宮妃杯争奪第57回全日本学生選手権大会出場
 - ・男子 第103回東海大学バドミントン選手権大会 団体2部昇格
第104回東海大学バドミントン選手権大会 団体2部4位

◎神谷奨励賞

- 文学部
国文学科 大脇有紗さん・英文学科 黒宮理恵さん
図書館情報学科 河村由紀子さん
- 現代社会学部現代社会学科
フィールドスタディーコース 岩越美奈さん
メディアプロデュースコース 外崎 希さん
都市環境デザインコース 舟橋潤佳さん
- コミュニケーション学部
コミュニケーション心理学科 堀 綾花さん
言語コミュニケーション学科 早瀬あずささん
- ビジネス学部ビジネス学科 橋本紗緒里さん
- 文化創造学部文化創造学科
表現文化専攻 大浦道子さん・多元文化専攻 岩田尚子さん
- 医療福祉学部
福祉貢献学科 水谷純子さん
医療貢献学科言語聴覚専攻 安藤佳代子さん
医療貢献学科視覚科学専攻 渡辺あゆみさん

注)学年は18年度のものです

学長表彰、学生部長表彰、 神谷奨励賞の表彰式を挙



学長表彰



学生部長表彰



神谷奨励賞

平成18年度学生表彰は、3月6日(火)長久手キャンパスにおいて行なわれました。学長表彰は言語コミュニケーション(当時的)の岡優子さん、ビジネスコミュニケーション(当時的)の開地友也さん、ラグビーフットボール部という、2人と1団体に授与されました。

学生部長表彰には、個人7組と3団体が輝き、それぞれの活躍が称えられました。神谷奨励賞は、卒業までいっその活躍を期待される各学科専攻の3年生人々が、学部長からの推薦を受けて選ばれました。

バトントワリング部が昨年12月17日(日)、さいたまスーパーアリーナで行われた「第34回マーチングバンド・バトントワリング全国大会」のバトントワリング部門大編成の部で最優秀賞を受賞しました。

この大会は、地方大会を制してきた各チームの演技を、5人の審査員が作品完成度と全体的効果の視点から100点満点で評価。合計点の平均が90点以上なら金賞、さらにその中で最高点を獲得した団体に最優秀賞が与えられます。

バトントワリング部が 全国大会で悲願の 最優秀賞を受賞



淑徳中学校のバトントワリング部は毎年、金賞受賞まではいくのですが、頂点に立つことができたのは今回が初めてです。幼稚園からバトンを握り始めた選手を集めたクラブチームや、難度の高い技を連発する強豪のPL学園を抜いての快挙です。

顧問代表の大竹先生から、「54人の選手と顧問団を代表し、指導の服部、三浦両コーチ、保護者の皆さま、生徒諸君、祝勝会を開いていただいた学園及び教職員の皆さまに心から感謝申し上げます」とのコメントがありました。

佐藤成哉教授、 化学教育有功賞を受賞



文学部の佐藤成哉教授は、長年にわたる化学教育の活性化と新教材開発などの多大な貢献により、日本化学界の第24回化学教育有功賞を受賞されました。

先生は、広島大学大学院理学研究科化学専攻博士前期課程を修了後、熊本大学に赴任されて、専門的分析化学分野の教育研究のかたわら、新しい化学教育の構築を目指して、多くの教育・啓発活動を積極的に進めてこられました。

たとえば身近な素材を用いた先端科学技術の教材化や、環境・エネルギー教育の展開支援としては、「エネルギーの実験玉箱」環境教育CDの考案・制作など、学校現場と直結した教育教材の開発を次々に手がけてこられました。さらに来場者が5万人規模となる熊本県内最大の科学イベント「青少年のための科学の祭典 熊本大会」の実行委員長を務めるなど、化学教育普及のための社会的活動を推進されてきました。

先生は本学に赴任されたばかりですが、さっそく研究室で地元企業と連携した新たな教育カリキュラム・教材開発に着手されています。